

1. 簡単なプロフィール

氏 名：

年 齢：30歳

受験校種：高等学校 数学

1次試験：合計178点（専門110点、一般・教職教養68点）、順位7位

2次試験：得点158点（模擬授業45点）、順位1位

受験回数：7回（臨任4年、非常勤1年、ニート1年）

4年間臨任として働きながら受験していましたが、この状態で合格するのは厳しいと感じ、非常勤に切り替えて受験しました。その年はあと一人というところで一次試験で不合格となりました。その翌年、仕事をせずに勉強一本に絞って合格できました。

2. 1次試験について

○どの時期に、どの科目を、どれぐらいやったか

9月ごろから3月ごろまでは、一般教養・教職教養はまなび道での講義とその復習をしていました。それ以外の時間は基本的に専門の勉強に充てていました。4月以降は、午前中は一般教養・教職教養、午後は専門の勉強をしていました。

○学習サイクル

3月までは非常勤講師をしていたので、授業の時間以外は学校で勉強させてもらっていました。（1日3～5時間程）

4月からは仕事をしなかったため、基本的にはまなび道に籠って勉強していました。午前中は教職教養・一般教養、午後は専門といった感じで勉強しました。

○使用した参考書、教材

一般・教職教養：まなび道の資料のみ。

特に毎月実施される模擬試験は何周も繰り返し解きました。

専門：チャートⅠA・ⅡB（黄色）

数学Ⅲ基礎問題精講（旺文社）緑のやつ

○時間をかけて勉強したところ

教職教養：教育法規、指導要領、教育原理・心理、教育史

特に原理・心理と教育史は稼ぎどころなので、満点取れるくらいやりました。

専門：試験の2か月前ぐらいからは、過去問や模試を時間を計って解き、間違えたところを解きなおすということを毎日最低でも1回はやっていました。

令和3年度 まなび道 合格体験報告

○暗記のコツ

暗記したらすぐ問題を解く。ひたすら覚えるのではなく、解きながら覚えるという感じで暗記しました。

○反省

合格する前の年は、これぐらい取ればいーだろうという感じでボーダーを超えられるようにという気持ちで勉強していましたが、結果惜しいところまではいっても不合格だったので、本気で1位を取るつもりで勉強した方がいいと感じました。(ボーダーは突然上がることもあるし、1次合格人数は突然減ることもあるので)

○これはぜひオススメ

まなび道で毎月実施される模擬試験は何周でも繰り返し解いて、問題を見た瞬間に答えが分かるぐらいにした方がいいです。本番で見たことある問題が出ます。まじで。

専門の数学は時間を計って模試や過去問を解いて、時間内に解く感覚を身に着けることが大事だと感じました。解くスピードと、ミスを減らすことが大事だと思います。

3. 2次試験について

○2次試験の内容

模擬授業、面接 (詳しい内容は別紙)

○各試験の対策をどの時期から始めたか

1次試験終了後、1週間後ぐらいには始めました。自己採点の結果自体は微妙なところでしたが、結果が出てからでは絶対に間に合わないと聞いていたので、通っていると信じて2次対策をスタートしました。

○どのような対策をしたか

知り合いの数学の先生や管理者の先生、前年度の合格者など、多くの方に模擬授業を見てもらい、アドバイスをいただきました。

面接も、まなび道以外でも多くの先生方に練習に付き合ってくださいました。様々な視点からのアドバイスをいただき、数をこなすことで緊張感にも慣れることができました。

○使用した参考書、教材

まなび道の2次試験対策資料、前年度に合格した方から借りた他の塾の資料

令和3年度 まなび道 合格体験報告

○反省

同じ教科で2次試験を受ける人の模擬授業を見せてもらったのですが、自分とやり方が全然違って不安になりました。いただいたアドバイスを元に、自分の授業の形をしっかりと作ることが大切だと感じました。

○これはぜひオススメ

自分の模擬授業の動画を撮影し、客観的に見て改善点を探すことを繰り返しました。面接は沢山の人の見てもらって、数をこなすことが大事だと感じました。

4. 試験に向かう姿勢

○心構え、生活サイクル等

臨任として働きながら勉強するのであれば、いかに時間を作るかが大事だと思います。自分はそれができなかったので、非常勤講師に切り替えて、授業のない時間は勉強すると決めて、学校で授業の空き時間に勉強していました。(授業の準備をしたうえで)
仕事を休んで勉強に集中する場合は、どうしても家と塾の往復という生活になってしまうので、自分なりの気分転換やストレス発散方法を見つけることが大事だと思います。

○モチベーション維持の為にしたこと

合格した後のことを考えるようにしていました。試験が終わった後の遊ぶ予定を立てたり、ご褒美に何か買おうかと考えたり、そのために頑張ろうと思えるようなことをイメージしていました。

○ストレス解消法

友達と会ってしゃべること、無理な我慢はしないことを心掛けました。

・令和3年度沖縄県教員候補者選考試験 2次試験 内容

○模擬授業 7分間（構想の時間なし）

高校1年生を対象に、以下の問題の解説をした。

問題 「6人の生徒を2人、2人、2人の3組に分ける方法は何通りあるか求めよ。」
ある生徒から、「6人の生徒を、部屋A, B, Cに2人ずつ入れる場合との違いが分からない。」と質問があった。クラス全体も同様に感じているようだったので、全体に向けて、あらためて説明することにした。
その授業場面を行って下さい。

模擬授業後の質問：

- ・この後の展開
- ・この授業のポイントを1分で
- ・普通の授業で意識していること

○面接

- ・志望動機

→なぜ数学を勉強することが好きなのか

→恩師との印象に残っていること

- ・（母も教員だと言ったので）生徒との信頼関係づくりについて母から何かアドバイスをされたことはあるか

- ・傾聴力以外の長所（協調性・積極性）についてアピールしたいことはあるか

- ・学校現場で先輩の先生方との関わりで心掛けていること

- ・生徒、保護者との関わりで心掛けていること

- ・生徒、保護者との関わりで苦勞した経験

- ・生徒への声掛けで、まずかったなと思ったこと、逆に声掛けでうまくいったこと

- ・場面指導

あなたのクラスで、身体的特徴を揶揄するような発言がありました。クラスに対する指導を2分間で行って下さい。

→どのようなことを意識して話をしたか

- ・生徒との信頼関係を築くために具体的に組み込んでいくこと

- ・最後に言い残したことはあるか

覚えていない部分もありますが、大体こんな感じの内容でした。

受験調書の内容や、答えたことの中からさらに質問されたような印象があります。